

各 位

平成 22 年 6 月 11 日

ジャックス債権回収サービス株式会社
代表取締役社長 黒 部 友 成

業務改善計画書の提出に関するお知らせ

弊社は、平成 22 年 5 月 14 日付業務改善命令に基づき、本日、法務省に業務改善計画書を提出しましたので、ご報告いたします。

本件に関しまして、日頃から弊社を信頼いただき、ご愛顧とご支援をいただいておりますお客さまをはじめ、多くの関係者の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、あらためて深くお詫び申し上げます。

弊社は、今回の業務改善命令を真摯に受け止め、内部統制の充実・強化および法令遵守態勢の構築を柱に、適正な業務運営を確保できる態勢整備に全社をあげて努めてまいり所存です。

本日提出いたしました業務改善計画書の要旨は、以下のとおりです。

記

1. 「内部統制の充実・強化」に向けた取り組み

- (1) 内部統制の充実・強化に取り組む経営姿勢を明確にし、代表取締役社長自らが業務改善計画を遂行してまいります。
- (2) 業務の遂行に必要な社内規則を整備し、これを遵守いたします。
- (3) 業務の適切な分離・分担により役職員の権限・責任を明確化し、相互牽制が有効に機能する態勢を構築します。
特に、コンプライアンス担当取締役として取締役弁護士を選任の上、権限・責任を明確化し、コンプライアンス態勢の整備・浸透をはかります。
- (4) 過誤、不備事例が発生した場合の原因分析、再発防止策を迅速かつ確実に策定・実施する態勢を構築するため、内部統制室を設置します。
- (5) (4)の態勢の実効性を自ら検証できる内部監査態勢を構築するため、内部監査室を設置します。

2. 「法令遵守態勢（役職員が法令を正しく理解し、確実に遵守することのできる態勢）の構築」に向けた取り組み

- (1) 業務を適正に行うためのマニュアル整備とともに、反復・継続した教育・研修を行い、役職員への「サービサー法の趣旨」等の浸透・徹底に努めてまいります。
- (2) 入金案内業務については、承認を受けた兼業の範囲を逸脱することのないよう「従業員への研修・教育」を徹底するとともに、検証態勢を構築します。
- (3) 貸金業法適用債権については、受託・譲受開始時の段階からの検証態勢を強化するとともに、適正に対応できる態勢を構築します。